

第2回坂井市総合教育会議

日時：平成30年1月17日(水)14時30分～

場所：坂井市役所 302会議室

会 議 次 第

1 開 会

2 協 議

(1) 児童生徒への対応について

(2) 学校給食のあり方について

(3) ふるさと教育について

(4) 福井しあわせ元気国体に向けて

(5) その他

3 閉 会

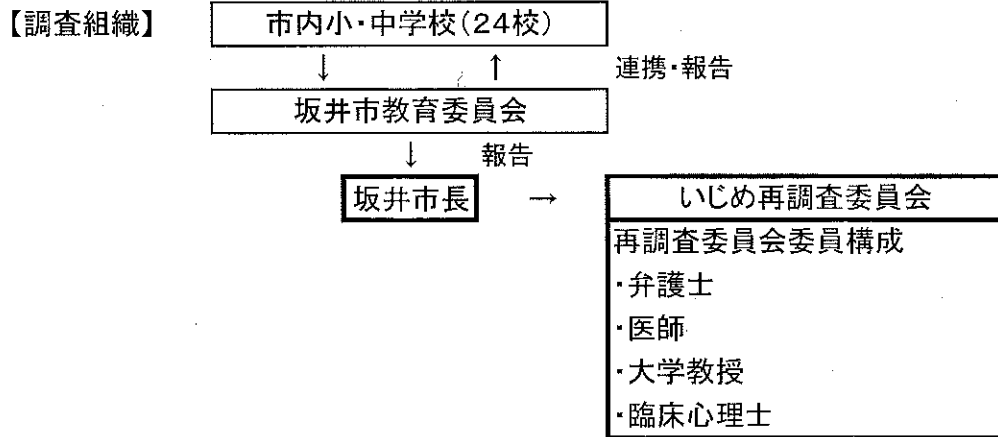
重大な学校事故が発生した場合の対応について

坂井市教育委員会

I いじめによる重大事態発生の場合の対応について

※重大事態とは

- ①いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき
- ②いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき

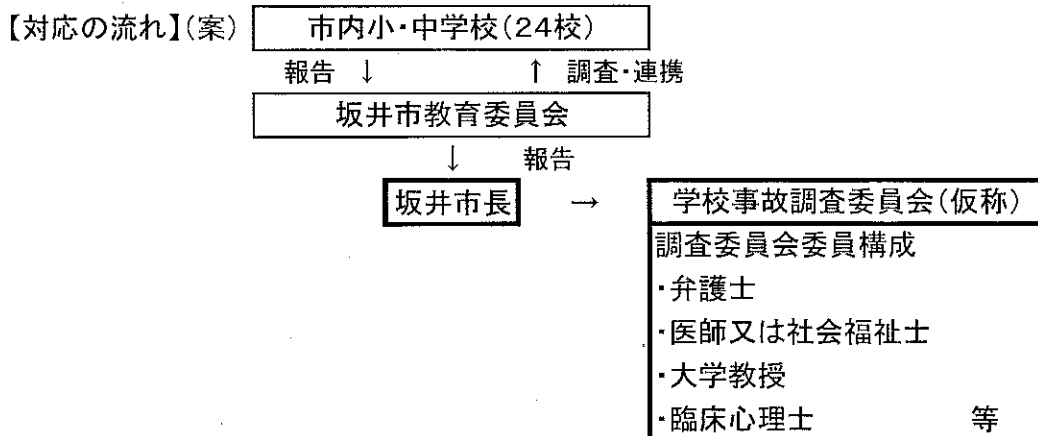


II 学校における重大事故発生の場合の対応について

※予想される重大事故とは

- ①当該学校の教職員による不適切な指導により、児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた場合
- ②当該学校の教職員の不適切な指導により、児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている場合

- 【今後の対応】
- 1 基本方針の策定
 - 2 対応組織の構築
 - 3 調査委員の選定 等



III 重大ないじめや学校事故が発生した場合の留意点(池田町で発生した学校事故を踏まえ)

- 1 調査委員会(仮称を含む)開催への対応を速やかに行う。
- 2 被害があった児童等の保護者への説明・対応を、誠意を持って綿密に行う。
- 3 報道機関等への対応マニュアルや苦情窓口を整備する。

学校給食のあり方について

1. 学校給食施設の現状と課題

本市の学校給食施設は、センター方式（共同調理場）と自校方式の施設・設備で園児・児童・生徒に給食を提供しています。

今後、児童生徒数の減少が予想される中で、ドライ運用による衛生管理基準への対応や小中学校、幼保園施設へのアレルギー対応食提供の一元化など、安全で安心な学校給食を提供するための施設整備が求められています。

中でも、三国学校給食センターについては、供用開始後31年が経過し、特に老朽化が著しいため、現在移転改築の整備計画を進めています。また、丸岡地区の自校方式の調理場についても、整備後かなりの年数を経過していますので、厨房施設の修繕や備品の更新を進めてきております。

最新の学校給食衛生管理基準においては、汚染作業区域（下処理室及び洗浄室等）と非汚染作業区域（炊飯・煮炊等）の明確な区分、調理室内の温度は25℃以下、湿度80%以下を保つように努めることなどが求められており、これらの要件を満たすためには、改築にあたり従来施設の約2～3倍程度の面積が必要となります。

また、新規に自校方式により施設を整備する場合、給食棟を増築する用地が校内で確保できないため校舎の改築と一体的に整備する必要があり、多大な費用と期間を要します。

なお、現在の坂井市内の小中学校における給食施設については、次のとおりです。

（平成29年4月1日現在）

施設	竣工	経過 年数	延床 面積	調理場 形式	市調理員		調理 委託
					正職	臨時	
三国センター	S61.4	31	1,266	ウエット	10	14	
春江坂井センター	H25.10	4	2,604	ドライ	13	26	
平章小学校	S54.8	38	213	ウエット	2	2	
長畝小学校	H14.3	15	185	ドライ	1	2	
高椋小学校	S54.8	38	177	ウエット	2	2	
磯部小学校	H10.2	19	206	ドライ	2	3	
明章小学校	H3.8	26	92	ウエット	1	1	
(鳴鹿小学校)	H22.3	7	-	-	-	-	○
(丸岡中学校)	-	-	-	-	-	-	○
(丸岡南中学校)	H18.4	11	-	-	-	-	○
合 計					31	50	

※鳴鹿小・丸岡南中の施設はクックチル再加熱施設

○三国学校給食センターの整備計画について

・現在の延床面積 1,266㎡ ⇒ 約3,000㎡が必要

・運営方法

現在：給食献立作成・食材調達・調理・洗浄を直営で実施

⇒新センター整備後、上記直營業務のうち調理・洗浄業務を民間委託予定

・職員体制

現在：市一般職員2名・県栄養教諭2名、市管理栄養士1名

調理職員 正職10名、臨時14名（計24名）

⇒新センター整備後（予定）

市一般職員2名・県栄養教諭2名・市管理栄養士1名

調理職員 委託人員34名

2. 学校給食関係者の配置状況

<正規職員年度別退職状況見込>

職員数：平成29年4月1日現在

年度	三国給食センター			春江坂井給食センター			自校式		
	栄養士	調理員		栄養士	調理員		栄養士	調理員	
		職員	臨時職員		職員	臨時職員		職員	臨時職員
現在	3	10	14	3	13	26	4	8	8
29年度					1				
30年度		1							
31年度		1						1	
32年度		民間委託予定							
33年度					1			2	
34年度					1				
35年度								1	
退職者計	-	2	-	-	3	-	-	4	-
職員数	3	8	-	3	10	-	4	4	-

三国給食センター正規調理員8名を春江坂井給食センター及び丸岡自校式へ

○新三国学校給食センター調理業務民間委託に合わせて、平成32年度以降、三国センターの正規職員8名及については、春江坂井及び丸岡自校式に配置を予定

平成32年度 春江坂井給食センター 正規調理員 12名 ⇒17名(+5名)

丸岡自校式 正規調理員 7名 ⇒10名(+3名)

19名から27名

3. 児童生徒数と食数の推移

平成29年5月1日現在の児童生徒数は、7,890人(小学校5,227人、中学校2,613人)であり、これに教職員等を加え、現在、坂井市全体の給食食数は約9,600食となっています。

平成18年度の合併当時における児童生徒数は、10,424人と1万人を超えていましたが、年々減少傾向にあり、市の人口推計(住民基本登録台帳による出生者数)によると、平成35年度には7,200人程度となることが想定されます。

また、平成27年10月に策定した坂井市人口ビジョンによると、地区間で人口減少の程度に大きな開きがあり、三国地区は最も減少率が大きいと予測されています。

今後、児童生徒数が減少していく中で、施設等の老朽化を踏まえ、給食の提供の在り方については、坂井市全域で提供地区の見直し等を検討する必要があります。

※平成29年度、32年度、35年度比較

年度別児童生徒数及び給食施設別推計値																
No.	学校名	三国給食センター						春坂給食センター			丸岡自校式給食施設			民間委託 (鳴鹿・丸岡・丸岡南)		
		H23	H29	H35	H29	H32	H35	H29	H32	H35	H29	H32	H35	H29	H32	H35
1	三国南小学校	258	189	213	189	201	213									
2	三国北小学校	251	258	230	258	251	230									
3	雄島小学校	284	233	231	233	238	231									
4	加戸小学校	226	181	157	181	175	157									
5	三国西小学校	202	171	137	171	163	137									
6	平章小学校	371	320	250							320	254	250			
7	長畝小学校	379	324	326							324	327	326			
8	高棟小学校	524	491	414							491	428	414			
9	鳴鹿小学校	147	128	103										128	112	103
10	磯部小学校	504	492	414							492	450	414			
11	明章小学校	159	114	70							114	69	70			
12	春江小学校	544	594	569				594	557	569						
13	春江西小学校	403	372	277				372	339	277						
14	大石小学校	303	292	210				292	243	210						
15	春江東小学校	347	312	289				312	295	289						
16	東十郷小学校	418	412	373		396	373	412								
17	大関小学校	227	170	132		160	132	170								
18	兵庫小学校	132	139	94		123	94	139								
19	木部小学校	86	86	87	86	98	87									
	計	5,764	5,277	4,576	1,117	1,805	1,654	2,291	1,434	1,345	1,741	1,528	1,474	128	112	103
	教員数	493	477	477	117	189	189	198	110	110	160	160	160	18	18	18
	幼保園	1063	940	433	433	400	400	210	180	180	210	180	180	210	180	180
	計①	6,833	5,993	1,667	2,394	2,243	2,699	1,724	1,635	2,111	1,868	1,814	356	310	301	
No.	学校名	H23	H29	H35	H29	H32	H35	H29	H32	H35	H29	H32	H35	H29	H32	H35
1	三国中学校	690	530	523	530	518	523									
2	丸岡中学校	720	602	556										602	596	556
3	丸岡南中学校	447	384	364										384	370	364
4	春江中学校	796	710	775				710	820	775						
5	坂井中学校	484	387	406				387	402	406						
	小計	3,137	2,613	2,624	530	518	523	1,097	1,222	1,181	0	0	0	986	966	920
	教員数	219	219	219	46	84	84	94	56	56	0	0	0	79	79	79
	計②	2,832	2,643	576	602	607	1,191	1,278	1,237	0	0	0	1,065	1,045	999	
	小中学校計 (教員幼保含(①+②))	9,665	8,836	2,243	2,996	2,850	3,890	3,002	2,872	2,111	1,868	1,814	1,421	1,355	1,300	
	うち 小中学校児童生徒数	8,901	7,890	7,200	1,647	2,323	2,177	3,388	2,656	2,526	1,741	1,528	1,474	1,114	1,078	1,023

平成23年度小中学校児童生徒数8,901名 ⇒ 平成29年度7,890名 ⇒ 平成35年度7,200名予測

(H23比較▲1,011名) (H23比較▲1,701名)

ふるさと教育について

坂井市教育振興計画の義務教育の充実、地域の特性を生かした魅力ある学校づくりの推進の基本施策において、「ふるさと教育」の充実を掲げています。

1. 「ふるさと教育」の充実

ふるさとの自然・歴史・文化に触れる（見学・調査・美化）活動や地域の人たちと交流することを目的とした、各学校で行っている「ふるさと教育」を充実しています。市内各地区のふるさとの自然・歴史・文化に関する素材を教材として活用するとともに、創意あふれる学習活動を推進しています。

さらに、まち・ひと・しごと創生総合戦略における「子育て支援の充実」における教育の充実と学習支援において、児童生徒の郷土の愛着心を高めるため、地域の自然、歴史、文化に触れる活動などを推進する中で、実施事業として「地域と進める体験推進事業」に取り組んでいます。

2. 地域と進める体験推進事業について

児童・生徒が自らの地域の課題等を改善する体験学習を実施することで、ふるさと福井に誇りや愛着を持ち、新たな活力を生み出す人材を育成するため、各小中学校で、平成28年度から平成32年度の期間において、県補助を受けて各学校が3年間、市から年間予算20万円を受けて、取り組んでいます。

〈収穫感謝祭〉

○三国南小学校の取組み（H28～H30）

地域の人と一緒に体験活動を実施し、ふるさと三国に誇りや愛着をもち、未来の三国を担う児童を育成する。

事業内容

- ① 米作り・収穫感謝祭を実施
- ② 三国に伝わる三国祭り・三国節の伝承活動



〈東京修学旅行でのPR〉

○三国中学校の取組み（H28～H30）

生徒が、地域の課題を改善する体験学習を自ら考え、ふるさとのことを知り将来地元へ貢献する意欲を育てる。

事業内容

- ① 三国の観光・自然・歴史を調査
- ② 三国町内での職場体験
- ③ 三国紹介用リーフレット作成



◆地域と進める体験推進事業の今後実施計画

○小学校

実施校	事業年度	主な活動計画内容
三国南小	H28～H30	地産地消や収穫感謝祭、伝統行事や伝統芸能への参加
三国北小	H29～H31	地域行事（祭、帯のまち流し）参加、三国の歴史調べ
雄島小	H30～H32	地域の自然（海・山）観察体験、サーフィン体験学習
加戸小	H29～H31	地元畑作勤労生産学習（加戸の茶・そば）地域と文化交流
三国西小	H30～H32	らっきょう体験学習・調理、地域の伝統・文化の学習
平章小	H30～H32	丸岡城の学習・清掃活動、米づくり体験、アイマスク体験
長畝小	H29～H31	米づくり・地産地消学習、長畝・竹田地区歴史学習
高椋小	H30～H32	米づくり・野菜づくり、地域の歴史調べ
鳴鹿小	H29～H31	どろんこ教室の実施、まほろば学習、地域交流（いも作り）
磯部小	H30～H32	蛍の舞う水辺の里づくり、米・とうふづくり体験
明章小	H29～H31	地域の魅力調査と地域高齢者との交流事業
春江小	H30～H32	地域の防災マップ作成・発表及び地域との交流
春江西小	H29～H31	地域交流事業（米づくり、生け花クラブ、ちぎり絵クラブ）
大石小	H30～H32	地域交流事業（米づくり、ユリづくり、野菜づくり）
春江東小	H29～H31	アーモンドの里づくりによる地域交流事業
東十郷小	H30～H32	地域交流事業（米づくり、野菜づくり）、地域行事への参加
大関小	H29～H31	大関フェスティバル（地域交流：米作り等）、敬老会への参加
兵庫小	H30～H32	農業体験学習（米・野菜づくり）、地域との交流
木部小	H29～H31	地域交流事業（米・野菜づくり、スイーツづくりと販売）等

○中学校

実施校	事業年度	主な活動計画内容
三国中	H28～H30	ふるさと調査及び他市町見学、職業講演会、清掃活動
丸岡中	H30～H32	ふるさと調査・魅力発信（東京・金沢）、職場体験等
丸岡南中	H29～H31	ふるさと地域学習（地域のPR・調査活動等）
春江中	H30～H32	ものづくり・伝統産業体験、職場体験、PR活動
坂井中	H29～H31	フラワーロード大作戦、地域行事（夏まつり）への参加

平成29年度 第2回総合教育会議資料

地域づくりと社会教育の推進 【実践事例の紹介】

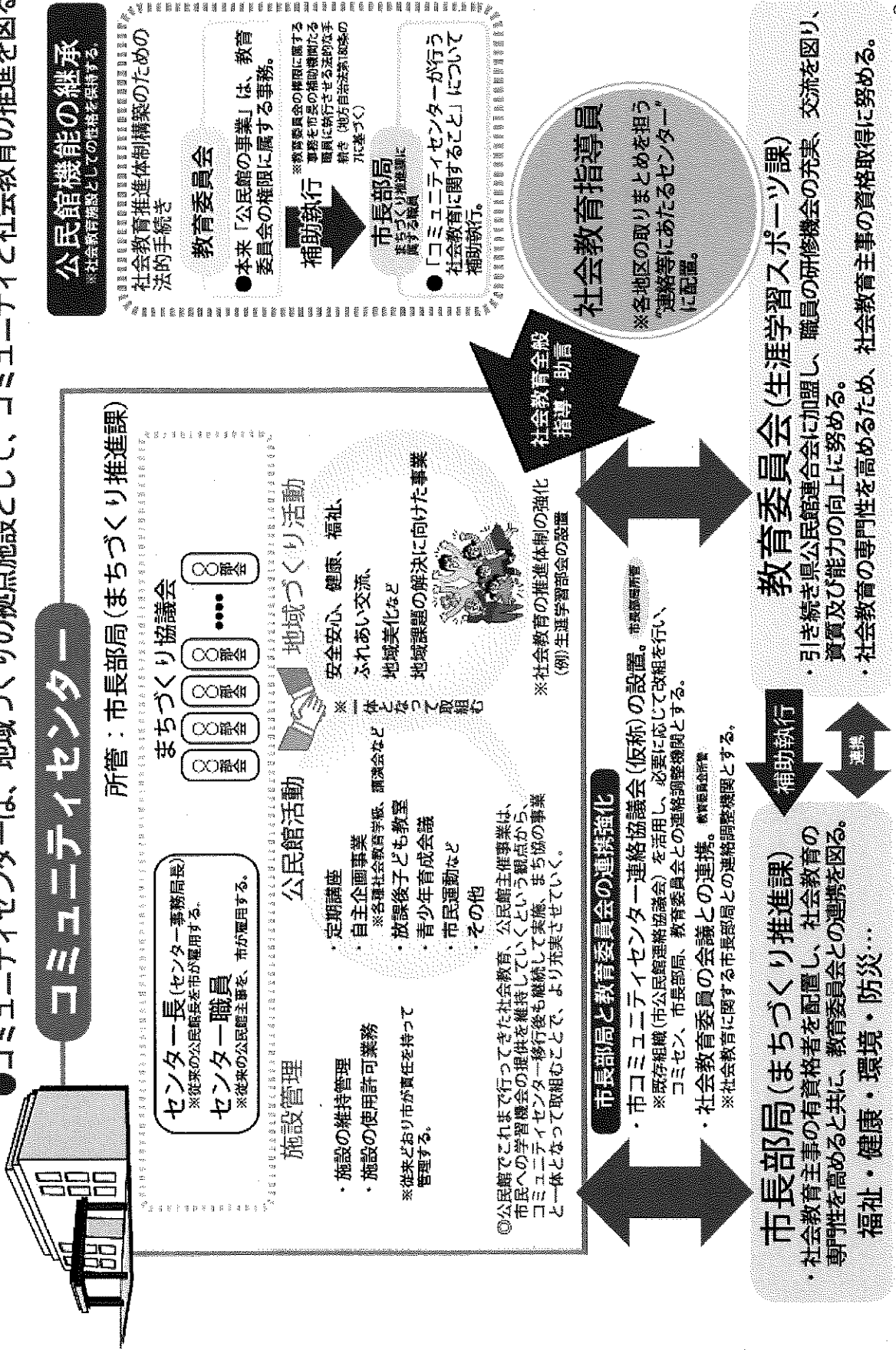


コミュニティセンター化以降の事業経過

- ・平成27年4月 公民館からコミュニティセンターへ
※まちづくりと社会教育の一体的な推進を目指す！
- ・平成27年8月 コミセン事務取扱マニュアルの作成
- ・平成27年11月 地域づくり支援ソフトウェア事業検討委員会の創設
※委員長：福井県立大学 江川先生（6回開催）
- ・平成28年2月 コミセン講座担当者会議・研修会（講座の方針）
- ・平成28年3月 地域づくり支援ソフトウェア事業の推進方針の策定
- ・平成28年4月 まちづくりパートナーシップ講座の実施
コミセンリレー講座・共催講座の実施
コミセン改修・整備事業のスタート（26センター：5年事業）
- ・平成28年6月 まちづくりカレッジ運営協議会の創設
- ・平成28年8月 まちづくりカフエ夜学部（まちカフエ夜学）の実施
- ・平成28年10月 まちづくりカレッジ（まちカレ）開講
- ・平成29年3月 まち協外部連携事業の実践（提案型）
- ・平成29年5月 まち協キャラクターデザイナー制作事業の実施
- ・平成29年9月 まちカレ修了式（第1期）
- ・平成29年10月 まちカレ開講（第2期）
まちづくりプランニング（まちプラ）の実施

コミュニティセンター移行後の社会教育推進体制について

●コミュニティセンターは、地域づくりの拠点施設として、コミュニティと社会教育の推進を図る。



【平成 28 年 3 月 16 日策定】

地域づくり支援ソフト事業の推進方針

まちづくり協議会活動や地域づくり活動の更なる推進を図るため、「地域づくり支援ソフト事業検討委員会（委員長：福井県立大学 江川誠一）」にて検討した結果について、4つの柱に区分して推進方針と具体的な取組みを定める。

①協働のまちづくりの更なる推進

【具体的な取組み】

●まちづくりパートナーシップ講座の実施 【資料1】

市が重点的に取り組む施策や市民の関心が高い事項などについて、市職員等が直接出向き説明する「出前講座」を実施する。

●社会教育指導員業務と地域づくり活動の連携・共催 【資料2】

社会教育指導員の学校・子ども・地域との「接点」を活かし、地域づくり活動と連携・共催した事業を推進する。また、地域の相談役として地域活動を支援する。

●コミュニティセンター運営協議会設置の推進

運営協議会の設置を推進し、地域の意見を組み込みながら「地域づくりの拠点」として特色あるセンターづくりを進める。

●コミュニティセンター事務取扱マニュアルの作成・運用

事務取扱マニュアルに沿ってコミュニティセンター事務の「適正化・効率化」を図ることで、地域づくり活動支援の拡充を目指す。

●地域づくり支援ソフト事業の評価と継続的な検討

実施した支援事業を適正に評価し、継続的な検討を行うことで、地域の特徴や全体的な流れに合った「坂井市版協働のまちづくり」を目指す。

②まちづくり協議会の組織強化と主体的な活動への支援

【具体的な取組み】

●まちづくり協議会の課題に対する支援 【資料3】

まちづくり協議会が抱える課題（人材育成・連携・組織強化・住民参画）に対し、「バランスよく支援」することで、より地域に係ざり、幹事のしっかかされた組織を目指す。

●人づくり大学の開講（地域づくりの担い手育成） 【資料4】

「地域を幸せにする」をコンセプトに、魅力ある地域づくりの担い手育成と自己の学びの地域還元を目指す。

●まちづくり協議会等に対する支援体制の充実 【資料5】

まちづくり協議会や地域づくり団体の求める「専門的な支援」を、実施できる支援体制の充実を図る。

③コミュニティセンターに求められる機能の充実

【具体的な取組み】

●センター長、センター職員研修の実施 【資料6】

市コミュニティセンター連絡会と連携・協力し、専門的でより実践的な研修を実施し、地域づくりと社会教育の一体的な推進を図る。

●地域づくりの拠点としての環境整備

地域づくりの拠点として必要な機能（情報収集と提供）や環境（まちカフェ等）を整備し、地域内外の「交流を生む」ことで、地域住民の参画促進を図る。

④社会教育と地域づくり活動の一体的な推進

【具体的な取組み】

●コミュニティセンター講座の実施方針の作成・運用 【資料7】

実施方針に沿った講座の企画・運営することで、地域づくりと社会教育を一体的に推進する。また、「別冊講座」や「共催講座」等の新たな形態での講座実施を図る。

●社会教育指導員業務とコミュニティセンター講座等の連携・共催

社会教育指導員の学校・子ども・地域との「接点」を活かし、コミュニティ講座等と連携・共催することにより、より効果的な事業を推進する。

1. 従来のコميمセン講座

定期講座

- ・主な目的は、自主グループの育成
- ・趣味的な習い事講座が中心
- ・受講料を徴収（1回 500 円＋材料費）

短期講座

- ・主な目的は、多様な学習機会の提供
- ・趣味的なものから地域づくりまで幅が広い
- ・受講料を徴収しない（材料費のみ）

2. これからのコميمセン講座の推進

地域づくりの視点を導入

4つの視点を意識して企画運営、地域づくりと社会教育を一体的に推進

【地域性】

地域やまち協などの意向を取り込んだ講座の実施
(コميمセン運営協議会等での二一ズ集約)

地域

課題

【課題性】

地域の課題を解決する知識、スキルを学び、地域づくりに繋げる
(新たな気づきを提供、地域活動に生かす)

教養

【教養性】

生涯学習の場としての、教養・技能講座の充実
(それぞれの個性を生かした地域づくりへ)

外部連携

【外部連携】

ボランティアグループ・NPO・大学等との連携講座の実施
(外部[よきもの]と連携、マンネリ化を打破)
(大学の開放講座との連携 → 域学連携)

3. 新たな講座形態

各コميمセンが単独実施している短期講座を「合わせ・つなげる」ことにより、より大きな効果的を目指す

共催講座

- ・歴史的、地理的に「つながり」のあるコميمセンが連携
- ・共通の二一ズや地域課題に合わせた講座
- ・地域間交流による地域の活性化を目指す

リレー講座

- ・地区別に統一テーマで講座をリレーする
- ・同じ趣向を持つもの同士の間域交流を生む
- ・地域間交流による地域の活性化を目指す

※H28 テーマ：[三國]健康と食 [丸岡]伝承料理
[春江]子育て支援 [坂井]親子の絆

平成29年度コミュニティセンター「リレー講座」実施状況

①三国地区

(テーマ)コミュニティバスで地域間交流 ～まちとひとをつなぐ公共交通～
 (目的)地域間交流、坂井市を知り好きになる、公共交通を利用&学ぶ
 (日時等)第1回:H29.6.27(火)丸岡ルート 第2回:H29.7.18(火)春江ルート
 第3回:H29.9.26(火)三国ルート 延べ36名受講

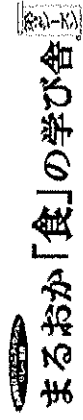
※他に、昨年引き続き「三国医師会」との連携講座を実施

第1回:H29.10.12(木) フレイル予防 22名受講 第2回:H29.10.24(火) 認知症予防 48名受講
 第3回:H29.11.7(火) 乳がん 10名受講 第4回:H29.11.20(月) 糖尿病と動脈硬化と眼 37名受講
 第5回:H29.12.7(木) 肺炎予防 43名受講



②丸岡地区

(テーマ)まるおか「食」の学び舎 ～伝えたいふるさとの味と食文化～
 (目的)地域間交流、丸岡を知ってもらえ、食について学び合うグループづくり
 (日時等)第1回:H29.6.16(金) ちまき作り 17名受講 第2回:H29.7.4(火) 山菜おこわ作り 25名受講
 第3回:H29.9.1(金) 葉っぱ寿司作り 24名受講 第4回:H29.11.16～17 法恩講料理作り 11名受講



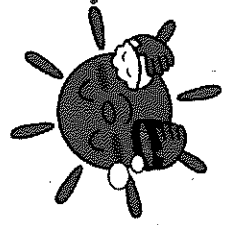
③春江地区

(テーマ)高齢者対象の健康講座 ※老人クラブ等と連携予定
 (目的)地域間交流、高齢者(に外に出てもらえ、コミセンを知ってもらえ)
 (日時等)第1回:H29.8.8(火) 脳活リフレッシュ 18名受講 第2回:H29.9.15(金) 終活 23名受講
 第3回:H29.11.26(日) フットネス脳トレ 22名受講 第4回:H29.11.29(水) 低栄養予防の料理教室 24名受講
 第5回:H29.12.3(日) 座ってできる健康体操 38名受講



④坂井地区

(テーマ)愛情いっぱい朝ごはん! ～手軽な時短料理で食育推進～
 (目的)朝ごはんの大切さを学ぶ 米どころ坂井のよさを再認識し、米の消費量増を目指す
 地域間交流(仲間づくり、コミセンを知ってもらえ)
 (日時等)第1回:H29.8.2(水) 夏バテ予防朝ごはん 12名受講
 第2回:H29.11.18(土) 地元食材をおいしく食べる 8名受講



【まちづくりカレッジ関連事業】



MACHIZUKURI
CAFÉ 夜学部

～これからの「まち・ひと・しごと」を考える～

まちカフェ夜学
(導入・きっかけ)

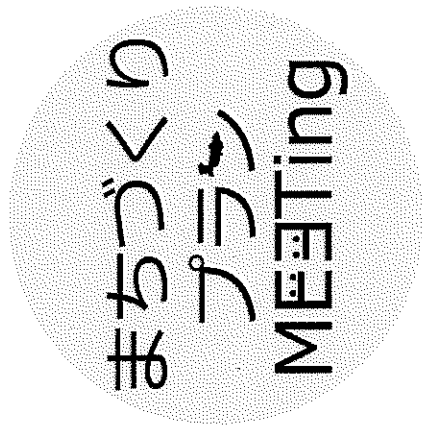
×



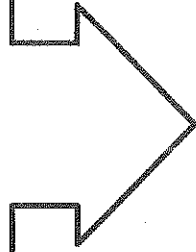
sakai city
まちづくりカレッジ

まちづくりプランMEETING

×



まちプラ
(実践・つながり)



人材・学びの地域還元 (持続可能なまちづくり)



まちづくりカフェ夜学部 (まちカフェ夜学)

坂井市 まちづくり推進課 職員自主研究グループ 事務局



MACHIZUKURI
夜学部
CAFÉ

～これからの「まち・ひと・しごと」を考える～

コンセプト これからの「まち・ひと・しごと」を考える

「地域活性化」「人や地域のつながり」「社会の課題」などについて、互いに語り合い・学び・考える場と新たな気づきを提供する。
(※主体的な人材を発掘し、まちづくりカレッジへの受講へつなげる)

概要

- ・講座数 5回 (※H28実績、第4・5回は職員自主研究グループと連携)
- ・受講者 延べ82名 (20～30歳代の受講が約70%)
- ・語り人 第1回：森のほうかごがっこう 正木宏幸氏 第2回：鳴鹿コミセン 辰川勇一氏
第3回：ラクルテ 松下ひかり氏 第4回：立命館大学 木村響子氏
第5回：(株)オクター 西村成弘氏

SAKAI Midnight Trip ～30分でしる坂井～





まちづくりカレッジ (まちカレ)

「まちカレ」ってどんなトコロなの？

(まちづくりカレッジ)

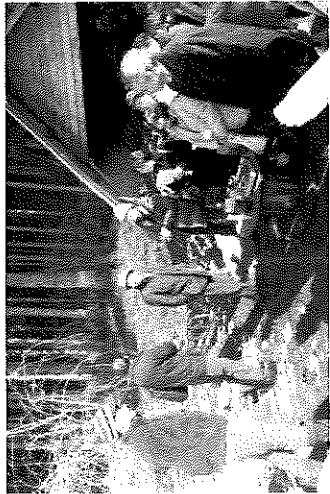
住んでいて「幸せ」と思える地域を、自分たちの手で実現するための学び合いの場です。専門的な知識を身につけ、実際に地域に出向き、自分の目で見て、実践者の話を聞き、感じて、みんなで話し合いながら、学びを深める場です。学び合いから、「あなたと地域」を笑顔と幸せにするトコロです。

コンセプト 「地域を幸せにする」

- ①地域の活性化や魅力あるまちづくりのための「人材育成」(担い手育成)
- ②自己の学びを地域に還元する「持続可能な地域社会のための教育」(ESD)

概要

- ・期 間 平成28年10月～平成29年9月 (全18講義、受講料9,000円)
- ・受 講 者 22名 (20～40代：6名、50～60代：14名、70代：2名)
- ・講 師 県立大学 江川誠一 氏、大阪ボランティア協会 岡村こず恵 氏、(株)アスリック 濱博一 氏 他
- ・学 習 課 程 基礎学 (5講義) + 地域学 (8講義) + まちづくり学 (5講義)
- ・修 了 基 準 講義の7割以上出席 + まちづくり研究レポートの提出 ※補講あり



1. 目的
 - ① 実践的なまちづくりプランの企画・実施による、人材・学びの地域還元
 - ② まち協と外部団体等がつながるようになることによる、連携するまちづくりの推進
(提案型の推進 ※自炊型→自炊+提案型)
2. 内容
 - ① まちカレ修了生を中心に、プランニンググループ(または個人)の構成
 - ② グループごとに、テーマやフィールドを絞った実践的なプランニングの実施
 - ③ まちづくりプランの発表・評価(アドバイス)、
グループとまち協等をマッチングするミーティングの実施

3. 対象

【プランニング】まちカレ修了生を中心としたグループ(または個人)
【プラン評価・アドバイス】選考委員・まち協・NPO・企業・市等

【ミーティング】



まちカレ受講生(22名)

※プランニング+コンテスト+ミーティングの要素

第73回国民体育大会

《正式競技》

サッカー

種別	会場	日程				
		9/30 (日)	10/1 (月)	10/2 (火)	10/3 (水)	10/4 (木)
成年男子	テクノポート	○	○	○	○	—
	三国運動公園	○	—	—	—	—
	丸岡スポーツランド	○	—	—	—	—
少年男子	テクノポート	○	○	—	—	○
	三国運動公園	○	○	○	○	—
	丸岡スポーツランド	○	—	—	—	—
女子	丸岡スポーツランド	—	○	○	○	○

バレーボール

種別	会場	日程			
		10/5 (金)	10/6 (土)	10/7 (日)	10/8 (月・祝)
少年男子	丸岡体育館	○	○	○	○
少年女子	三国体育館	○	○	○	○

《デモンストレーションスポーツ》

- バトン 8月26日(日)に坂井中学校体育館で開催
- ドッチビー 8月26日(日)に三国体育館で開催
- バウンドテニス 9月 2日(日)に三国体育館で開催
- エアロビック 9月 2日(日)に春江中学校体育館で開催
- ディスクゴルフ 9月16日(日)に坂井市海浜自然公園で開催

第18回全国障害者スポーツ大会

《正式競技》

サッカー

会場・・・丸岡スポーツランド

日程・・・10月13日(土)、14日(日)、15日(月)

※プレ大会は、6月9日(土)、10日(日)に同会場で開催

フライングディスク

会場・・・三国運動公園

日程・・・10月13日(土)、14日(日)、15日(月)

※プレ大会は、6月10日(日)に同会場で開催